

ポッチャくるめカップ 競技規定

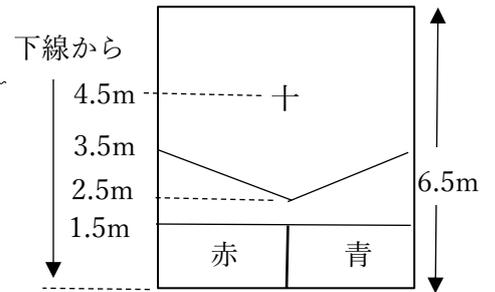
1、試合形式

- ・予選および決勝は1試合2エンドを実施（1試合12分間）

試合途中であっても、12分間経過時点で終了

【図1】

- ・1チーム5人まで（試合は3名）
- ・1エンド6投（1人2投） チーム内での投球順は自由
- ・選手交代はエンド間に申告により可（エンド中の交代は不可）
- ・コートは特設コート（市町村ポッチャ大会と同じサイズ）
- ・じゃんけんで勝ったチームが先攻・後攻を決める
- ・先行は赤ボール、後攻は青ボール（図1参照）
- ・エンドが変わっても各チームはボックスを移動しない
- ・ライン上はアウトボールとなる
- ・投球しないプレイヤーはコートの外に出ても構わない
- ・はじめに ジャックボールをコート外に投球してしまった場合は相手チームにジャックボールの権利が移る（コート内にジャックボールが収まるまで繰り返す）



2、同点の場合 タイブレイク

- ・じゃんけんをして勝ったチームが先攻・後攻を決める（その際ボックスの移動は無し）
- ・ジャックボールはクロスに置く
- ・チーム代表者1名により勝敗が決まるまで交互に投球
- ・タイブレイクの1得点は加算せず勝敗のみを決定

3、各コートの勝敗決定順

勝数 > 直接対決時の結果 > 総得点 > タイブレイク

予選 各コートでの順位を決める（4チームの場合1位～4位）

決勝 トーナメント Aグループ 予選1位2位 Bグループ 予選3位4位

※申込チーム数により変更あり

4、原則 ペナルティスローは無し

投球の時ラインクロスをしない様 審判が促すことで反則が起きないようにする

各種反則は未然に防ぐことを優先し ペナルティは極力与えないようにする

投球する選手以外はボールを持ってはいけない（誤審防止）

【その他の事例への対応】

- ・試合中にジャックボールがコートの外に出た場合 ジャックボールはクロスの上に置く
ジャックボールに遠いチームから再開とする
- ・赤・青のボールがジャックボールと等距離になった場合 その状況を作り出したチームの投球から再開とする

5、審判に点数を聞いたり ボールの配置を確かめにコート内に入ることができるのは
パドルが出ているチームのみとする パドルが出ていないチームは自分たちの番に
なるまでその権利はない (1 エンド 1 回 1 分以内全員で確認できる)

6、マイボールの使用は可とする。

※但し試合前に申出をした上で本部によるチェックが必要

7、その他

・エンド終了時の得点を確認する場合は全員で確認できる

※全員確認は普及を目的とする東久留米ローカルルール

・投球時の時間制限導入 (市町村大会同様)

各チーム投球の時間制限を 1 エンドにつき 3 分以内とする

・その他のルールについては日本ポッチャ協会の競技ルールを適用する

判定に迷った時は必ず本部に相談する